

第10回歌会始を開催  
最優秀作品三十三首が披露されました



▲最優秀に選ばれた児童10名

1月15日、金山小学校で第10回目となる歌会始が開催され、最優秀作品に選ばれた10名の児童が短歌を披露しました。新庄龍山短歌会山田拓代表は「レベルの高い作品が多く優秀作品の選定に苦戦した」と講評を述べ、来賓の柴田清正さん(入有屋)は「町制施行100周年、金山小創立150周年の記念すべき年に第10回目となる歌会始を開催でき大変嬉しく思う。『継続は宝なり』今後この伝統を引き継いでほしい」と想いを語られました。

【六年生詠歌】 最優秀十首

草はらを なかく走る 馬二頭 神室ファームは 紅葉にもえて  
先人の 知恵と文化を 受け継いで 栄え続ける われらの金山  
金山の 夜の大堰 光つてる ライトに照らされ 泳ぐ鯉たち  
お祝いの 百年の旗 町中に 巡り合わせた 記念の年に  
百周年 にぎわう金山 声ひびく 嬉しくなつて 声出す私  
金山の 四季をいろいろ 百年の 変わらぬ風景 ずっと未来に  
金山の キラリと光る 物語 次に続くは 我らの未来  
僕と母 祖母も卒業 金山小 つながる記憶 百五十年よ  
金山の ビーナツクリーム もちに入れ 母と開発 「ビーもっちゃん」  
校庭に ひびくざわざわ 木の音が わははと笑う 友達の声

阿部 海音 阿部 椿味 阿部 大河 伊藤 佑真 小野 愛 笹原 紗来 柴田 莉緒 柴田 祐都 日向 大希 山田 咲梓 吉田 咲梓

【中学校の部詠歌】 最優秀十一首

窓の外しかとながめて見えるのは にこることなき白銀の空  
友達と川遊びをししづめられ 流れの中に魚群発見  
秋の朝 親子で登る神室山 野山の錦に思わず微笑む  
通学路 四季の変わり目 金山の 教えてくれる校の木々が  
白光りの行き渡る町あたたかな 陽射しが冷えた朝露包む  
シャボン玉 虹の彼方へ飛んでゆけ！ 希望がいつばい私の未来  
入学式 胸の高鳴り友の笑顔かお 新たな希望へふみだす一歩  
朝早く窓をあければ吹く風に かすかに感じる初夏のぬくもり  
合唱祭 会場いっばい響く声 我が学級の成長語る  
金山の町並み変わらず美しく 空は晴れ色 心静まる  
帰り道 友に手を振り 上見れば 気持ち重なる橙(だいだい)の空

【高等学校の部詠歌】 最優秀六首

移りゆく夏の暑さは消えゆきて 秋の寒さで目を覚ます日々  
走り際(ざわ) 雨が上がつて紫陽花に 残る滴(しずく)に足がとどまる  
リタイヤが頭の中でかめぐる がまんだ我慢 走った二人  
秋の来てグリーンカーテン役目終え スカスカな葉に感じる寒さ  
夏休み 面接指導念入りに 受けるもやはり不安は消えず  
新年度 窓から見える校の木 最後の一年この教室で

【一般の部詠歌】 最優秀八首

たて山を「よいちよよいちよ」と登る孫(きみ)と まちを見下ろし幸せのあせ  
孫たちと美杉(みすぎ)のごと大きくなりし ごじやれば焚いて迎へるお盆  
おしよがつ百さいになるかねやままち うれしいうれいおめでどう  
百年後 二百才の金山町 わたしは百十才 元気でいるかしら  
廃校の運動場に野菊咲く エールを贈る卒業生に  
脈々と 引き継がれゆく金山小「百五十年」の歴史を明日に

金山校一年 高橋 零 金山校一年 三上 琉 金山校一年 小玉 夢明 金山校三年 長倉 色寿 金山校三年 三條 陸斗 金山校三年 齋藤 悠菜 七日町 佐藤 順子 谷口 清子 十日町 柴田 結歌 十日町 柴田 楓歌 稲沢 順子 入有屋 柴田 清正

能登半島豪雨災害の被災地へ  
もがみ北部商工会女性部金山支部が募金活動を実施



▲佐藤英司町長(左)、丹恵美子さん(中央)、柿崎幸子さん(右)

12月26日、もがみ北部商工会女性部金山支部の丹恵美子さん(七日町)と柿崎幸子さん(内町)が来庁され、ご寄付を賜りました。この寄付金は11月3日に開催された「ふあむふあむマルシェ」で集められたもので、総額を町へご寄付いただきました。頂戴した寄付金は、日本赤十字社山形県支部金山町分区を通して、能登半島豪雨災害の被災地へ送金されます。皆様のご協力、温かいお気持ちに心から感謝申し上げます。

沼田建設株式会社から町へ寄付  
感謝状贈呈式を開催



▲佐藤英司町長(左)、笹健一代表取締役社長(中央)、二戸源光専務取締役(右)

沼田建設株式会社より、企業版ふるさと納税による500万円のご寄付を賜り、12月25日に感謝状贈呈式が開催されました。沼田建設株式会社 笹健一代表取締役社長より「100周年の節目を迎え、これからさらに輝ける未来に邁進する金山町を応援したい」との挨拶をいただきました。頂戴した寄付金については、「街並み(景観)づくり100年運動推進事業」及び「新庄南高金山校魅力化推進事業」に有効に活用させていただきます。

子どもたちの安全のために  
白岩土木建築 冬期交通安全教室



▲安全教室では除雪車の試乗体験も実施されました

12月19日、認定こども園めぐたまの駐車場で白岩土木建築株式会社主催の「幼児のための冬期交通安全教室」が開催されました。この企画は冬期の交通災害撲滅を目的として20年以上前から実施されており、今年度は年長児23名が参加しました。白岩社長は「金山の子どもたちのためにこの企画を長年続けてきた。除雪車の危険性や冬期の交通ルールを子どもたちに伝え、冬期間を安全に過ごしてもらいたい」と想いを語られました。

町の人材育成の推進を  
星川建設株式会社から町へ寄付



▲星川知己専務取締役(左)、星川広喜代表取締役社長(中央)、佐藤英司町長(右)

1月7日、星川建設株式会社 星川広喜代表取締役社長と星川知己専務取締役が来庁し、500万円の一般寄付を賜りました。頂戴した寄付金は「町の人材育成事業へ活用してほしい」との意向から、「かねやま清い心の町創造基金」へ積立し、来年度以降、町民の皆様と町職員のための人材育成事業などに有効に活用させていただきます。